

2014年度 障害児（者）教育研究委員会

I. 活動内容・テーマ

「障害児（者）をめぐる差別や偏見をなくすための課題についての研究や教材の作成」

II. 本年度の活動

[打ち合わせ会]	5月16日（金）	奈良県人権センター
[第1回]	5月30日（金）	橿原市中央公民館
[第2回]	6月20日（金）	橿原市中央公民館 分館
[第3回]	9月17日（金）	橿原市中央公民館
[第4回]	10月 2日（木）	奈良県心身障害者福祉センター
[第5回]	10月31日（金）	橿原市中央公民館 第2会議室
[第6回]	11月21日（金）	大淀養護学校
[第7回]	1月 9日（金）	橿原公苑 本館

III. 活動報告

1. 打ち合わせ会 5月16日（金） 奈良県人権センター

(1) 座長選出

三宅啓温（天理高校） 小野芳幸（高取国際高校） 松本千恵（関西中央高校）

(2) 今年度の活動方針について。

2. 第1回 5月30日（金） 橿原市中央公民館

(1) 「各学校における特別支援学校との交流の取り組み」の紹介・報告。

(2) 特別支援学校の学校紹介パンフレットを通して知的障害のある方への支援の仕方や車イスの取り扱い等について学ぶ。

(3) 奈良県の公立高校への特別支援学校の分教室設置について学ぶ。

(4) 「なままとともに」に素材提供する新教材の検討。

3. 第2回 6月20日（金） 橿原市中央公民館 分館

(1) 新教材の検討。

(2) 視覚障害のある方への支援の仕方を学ぶ。

(3) 県立高校への特別支援学校の分教室設置について学ぶ。

(4) 障害者の権利に関する条約について学ぶ。高取国際高校の取り組みについて学ぶ。

(5) 障害児（者）教育に関する書籍の紹介。

4. 第3回 9月17日（金） 橿原市中央公民館

(1) 新教材の検討。

(2) フロアバーボール近畿大会 現地研修会について。

(3) 障害者権利条約について学ぶ。高取国際高校の取り組みについて学ぶ。

(4) 障害児（者）教育のHR等で使用されている映画やDVDの推薦について。

5. 第4回 10月2日（木） 奈良県心身障害者福祉センター

- (1) 第44回 近畿盲学校フロアバレー大会 現地研修
6. 第5回 10月31日(金) 檜原市中央公民館 第2会議室
- (1) フロアバレー近畿大会現地研修会についてのまとめ。
 - (2) 新教材の検討。
 - (3) 障害者権利条約について学ぶ。高取国際高校の取り組みについて学ぶ。
 - (4) 認知症事故訴訟の事例について学ぶ。
 - (5) 映画「まぼろしの邪馬台国」鑑賞。

7. 第6回 11月21日(金) 大淀養護学校

- (1) 「高校の先生のためのオープンスクール(一日授業参加)」

8. 第7回 1月9日(金) 檜原公苑 本館

- (1) 今年度の障害児(者)教育研究委員会のまとめと課題。
- (2) 総括作成、研究実践レポートの内容検討。

IV. まとめと課題

「障害児(者)をめぐる差別や偏見をなくすための課題についての研究や教材作成」をテーマとして、「なかまとともに」に素材提供する新教材の検討、視覚障害のある生徒によるスポーツ、フロアバレーの近畿大会への現地研修、障害児(者)教育研究委員おすすめの障害児(者)教育に関する授業等で使用していただけそうな書籍・作文・映像教材の検討を行いました。

新教材としては、障害者権利条約について学びを深め、実際に、この夏に高取国際高校の車椅子を日常的に使用する生徒によるオーストラリア短期語学研修参加が、この条約によって実現する様子を高取国際高校の小野芳幸先生より教えていただきながら学べたことは、大変貴重な体験となりました。

今年度は、新教材の検討に比重がおかれたので、次年度は、障害児(者)教育の先進的な取り組みをしている学校等を訪問しての学びも深めていきたいです。

ロングホームルーム教材として使える障害児(者)教育に関する30~40分の映像ライブラリーを構築していくなら、現場で使いやすい教材が出来るのではないかと思いました。

一年間をかけて、障害児(者)教育に関する有意義な研修が出来ました。学んだことを生徒に還元しやすい教材を作成していくならと思いました。

共生社会の実現に向けて、県立高等学校と県立高等養護学校との交流及び共同学習を推進するため、2016年4月より県立高等養護学校の分教室が設置されることとなり、奈良県立高等学校インクルーシブ教育推進校として高円高等学校、山辺高等学校、二階堂高等学校の3校が指定されました。奈良県のこの先進的な取り組みについて、本研究委員会は、生徒のことを一番に考え、現場の意見に耳を傾けながら、様々な視点から話し合いを続けていく必要があると思います。

本研究委員会を通して、特別支援学校と高校の先生との顔つなぎができました。共生社会実現に向けて、啓発や情報発信ができるありがたい会だと思いました。

視覚障害のある生徒によるスポーツ、フロアバレーの近畿大会を現地に出向き観戦し、スポーツを通して、学校間の特別支援学校との交流がよりスムーズに行われるのではないかと思いました。

本研究委員会は、高校と特別支援学校の先生方が一緒に研修できる貴重な機会なので、今後も学校間交流や施設・設備の充実、センターとしての役割としての教育相談など、それぞれの立場で生じる要望が満たされる研修を計画し、深めていきたいと考えています。